

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第12週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (12週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 2 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核	咳、痰
		日南	80歳代	男	肺結核	痰、発熱
		小林	90歳代	女	肺結核	痰、発熱
		高鍋	90歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、肺炎、多臓器不全
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、髄膜炎、菌血症 ワクチン接種歴不明
		都城	80歳代	女	—	全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症 ワクチン接種歴 1回目 平成27年10月
	梅毒	小林	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	扁平コンジローマ

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,502 人 (定点当たり 33.0) で、前週比 96%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

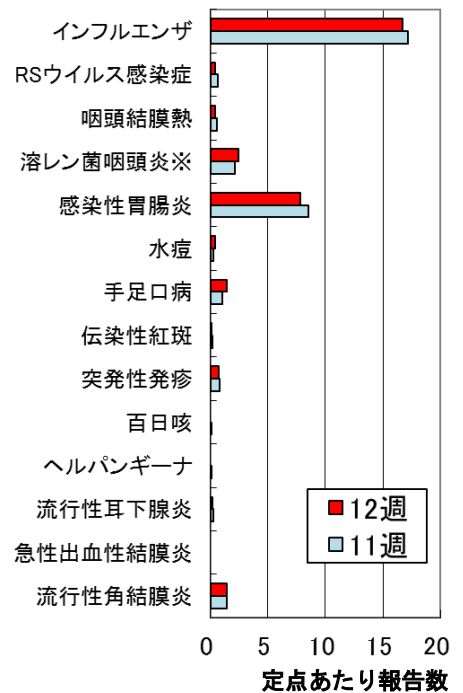
報告数は 985 人 (16.7) で、前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\* (13.4) の約 1.3 倍であった。小林 (28.4)、宮崎市 (19.0)、延岡 (18.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 5~9 歳が全体の約 3 割を占めた。

##### 【手足口病】

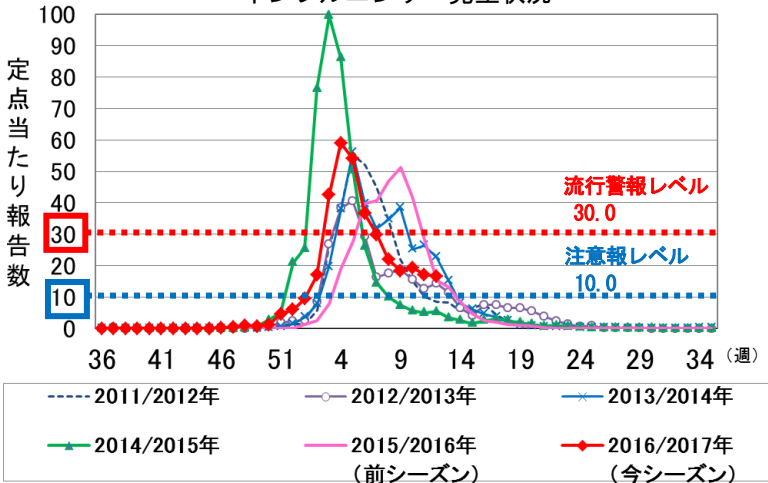
報告数は 53 人 (1.5) で、前週比 143%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.40) の約 3.7 倍であった。小林 (5.7)、中央 (4.0)、宮崎市 (1.8) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~2 歳が全体の約 7 割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値

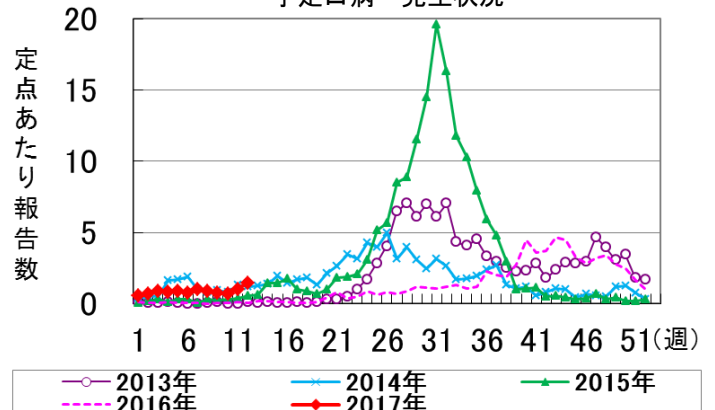
《前週との比較》



インフルエンザ 発生状況



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  
手足口病 発生状況



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：宮崎市（4例）、高鍋、日向（各1例）保健所から報告があった。  
0～4歳が5例、5～9歳が1例で病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(19.0)
都城	インフルエンザ(13.4)
延岡	インフルエンザ(18.0)
日南	インフルエンザ(17.6)
小林	インフルエンザ(28.4)、手足口病(5.7)
高鍋	インフルエンザ(10.3)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(15.2)
中央	インフルエンザ(11.5)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

・手足口病(5.0)

\* 流行注意報レベル基準値 \*

・インフルエンザ(10.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 29 年 3 月 27 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Legionella pneumophila</i> SG1	60歳代	男	2017.03.03	発熱(40.0℃)、肺炎	喀痰	2017.03.13
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	5～9歳	男	2017.03.03	発熱(39.6℃)、頭痛、胃腸炎(下痢、腹痛)	便	2017.03.10
<i>Salmonella</i> O7群血清型不明	10歳代	男	2017.03.04	—	便	2017.03.15

○発熱、肺炎を呈した60代後半の男性から、*Legionella pneumophila* SG1 が分離された。市中病院でのレジオネラ症の診断には、尿中抗原を検出する市販キットが使用されていることが多い。このキットは、特異的に検出できる一方、*L. pneumophila* SG1 以外のレジオネラ属菌を見逃す可能性がある。レジオネラ症が疑われる場合には、尿中抗原が陰性であっても、喀痰などから菌の分離を実施したほうがよい。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2016.12.19	肝機能障害、40.0℃	咽頭ぬぐい液	2017.03.16
ヒトヘルペスウイルス6	5～9歳	女	2016.12.20	手足口病、口内炎、水疱、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.03.23
単純ヘルペスウイルス1型	0～4歳	男	2017.02.28	単純ヘルペス、結膜炎	眼ぬぐい液	2017.03.16
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.01.24	手足口病疑い、39.3℃、口内炎、丘疹	咽頭ぬぐい液	2017.03.15
単純ヘルペスウイルス1型	0～4歳	女	2017.01.24	手足口病疑い、39.3℃、口内炎、丘疹	咽頭ぬぐい液	2017.03.23
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	男	2016.12.27	手足口病、38.1℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.03.15
インフルエンザウイルスAH1pdm	5～9歳	女	2017.03.22	インフルエンザA型、39.4℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.03.23
インフルエンザウイルスAH1pdm	5～9歳	男	2017.02.13	インフルエンザA型、39.0℃、上気道炎	鼻汁	2017.03.22
インフルエンザウイルスAH1pdm	5～9歳	男	2017.02.19	インフルエンザA型、39.0℃、上気道炎	鼻汁	2017.03.22
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2017.02.23	インフルエンザA型、39.3℃、上気道炎	鼻汁	2017.03.23
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	女	2017.02.24	インフルエンザA型、40.0℃、頭痛、胃腸炎(嘔気、嘔吐)、結膜炎	鼻汁	2017.03.23
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	女	2017.02.28	インフルエンザA型、39.1℃、頭痛	咽頭ぬぐい液	2017.03.23
インフルエンザウイルスAH3	60歳代	女	2017.02.15	インフルエンザA型、38.0℃、上気道炎(咽頭痛、咽頭炎)	鼻汁	2017.03.22
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	男	2017.02.14	インフルエンザA型、40.0℃、頭痛、上気道炎(咽頭痛)	咽頭ぬぐい液	2017.03.22
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	女	2017.02.15	インフルエンザA型、39.0℃、関節痛、上気道炎	鼻汁	2017.03.22
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	女	2017.01.31	インフルエンザA型、39.0℃、上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.03.16
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	男	2017.01.31	インフルエンザA型、38.9℃、頭痛	咽頭ぬぐい液	2017.03.16
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	男	2017.01.31	インフルエンザA型、40.0℃、上気道炎(咽頭炎)	咽頭ぬぐい液	2017.03.16
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	女	2017.01.27	インフルエンザA型、発熱	鼻汁	2017.03.16
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2017.01.27	インフルエンザA型、39.7℃、上気道炎	鼻汁	2017.03.16
インフルエンザウイルスAH3	10歳代	男	2017.01.30	インフルエンザA型、38.3℃、上気道炎	鼻汁	2017.03.16
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	30歳代	女	2017.02.27	インフルエンザB型、38.9℃、頭痛、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2017.03.23
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	5～9歳	男	2017.03.01	インフルエンザB型、38.8℃、腹痛	鼻汁	2017.03.23
インフルエンザウイルスB型(ビクトリア系統)	5～9歳	女	2017.02.15	インフルエンザB型、40.0℃、上気道炎	鼻汁	2017.03.22
インフルエンザウイルスB型(ビクトリア系統)	0～4歳	女	2017.02.14	インフルエンザB型、38.8℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.03.22
ライノウイルス	0～4歳	男	2016.12.17	急性脳症疑い、38.3℃、ショック症状(循環不全)、下痢、意識障害、肝機能障害、腎機能障害(乏尿)、けいれん	咽頭ぬぐい液	2017.03.22
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	男	2017.03.02	急性気管支炎、38.0℃、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.03.17
パルボウイルスB19	30歳代	女	2016.12.15	不明の発疹症、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.03.15

○不明の発疹症の患者1名からパルボウイルス B19 が検出された。小児でよく見られる伝染性紅斑の起因ウイルスであるが、成人では不顕性感染が多い。しかし、妊婦が初感染すると胎児水腫や流産を起こす可能性があり、妊娠前半期ではこの可能性がより高まる。伝染性紅斑は春から夏にかけて流行が見られるため、今後の動向に注意が必要である。

○インフルエンザと診断された19名からインフルエンザウイルスが検出された。主流は依然としてAH3であるが、B型（山形系統、ビクトリア系統）に加え、今シーズン初めてAH1pdmも検出されたことから、宮崎県では全てのタイプのインフルエンザウイルスが検出されたことになる。流行のピークは過ぎたものの、今後も手洗いうがいなどの感染予防策をとり感染に注意することが重要である。

## 🇯🇵 全国 2017 年第 11 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 11 週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	313 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32 例	腸チフス	1 例	
4類感染症	E 型肝炎	7 例	A 型肝炎	5 例	つつが虫病 1 例
	デング熱	7 例	マラリア	1 例	ライム病 1 例
	レジオネラ症	12 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 21 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 9 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 4 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	30 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒 54 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん 2 例
	麻しん	9 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例	

麻しんの報告数は9例で前週比約1.3倍と増加した。東京都(3例)、北海道、宮城県、埼玉県、神奈川県、三重県、大阪府(各1例)から報告があった。九州地方からの報告はなかった。年齢別では10歳代が4例、20歳代が2例、10歳未満、30歳代及び40歳代が各1例ずつであった。

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比98%とほぼ横ばいであった。前週と比較して増加した主な疾患は感染性胃腸炎(ロタウイルス)で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は50,976人(10.3)で前週比93%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(14.5)の約0.7倍であった。沖縄県(22.8)、福島県(20.7)、長崎県(19.8)からの報告が多く、年齢別では5~9歳が全体の約3割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は1,224人(0.39)で前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.29)の約1.3倍であった。岩手県(2.6)、鹿児島県(0.98)、佐賀県(0.74)からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約3割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第12週(3月20日～3月26日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1013	985	304	134	126	88	142	62	15	91	23
	定点あたり	17.17	16.69	19.00	13.40	18.00	17.60	28.40	10.33	7.50	15.17	11.50
RSウイルス 感染症	報告数	23	15		5	3	4		2		1	
	定点あたり	0.64	0.42	0.00	0.83	0.75	1.33	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	15	5	3	1	2	1		1	1	1
	定点あたり	0.61	0.42	0.50	0.50	0.25	0.67	0.33	0.00	1.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	77	88	47	5	8	12	1	9		2	4
	定点あたり	2.14	2.44	4.70	0.83	2.00	4.00	0.33	2.25	0.00	0.50	4.00
感染性胃腸炎	報告数	308	282	79	30	9	41	40	16	6	48	13
	定点あたり	8.56	7.83	7.90	5.00	2.25	13.67	13.33	4.00	6.00	12.00	13.00
水痘	報告数	10	14	8	2	1	1	1			1	
	定点あたり	0.28	0.39	0.80	0.33	0.25	0.33	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	37	53	18	10		2	17	1		1	4
	定点あたり	1.03	1.47	1.80	1.67	0.00	0.67	5.67	0.25	0.00	0.25	4.00
伝染性紅斑	報告数	8	4	1							3	
	定点あたり	0.22	0.11	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
突発性発しん	報告数	28	27	8	3	2	4	4	3		3	
	定点あたり	0.78	0.75	0.80	0.50	0.50	1.33	1.33	0.75	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	6	2	1	1	1		1			
	定点あたり	0.25	0.17	0.20	0.17	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	7	6	1							
	定点あたり	1.40	1.40	3.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	7	6	4					1		1	
	定点あたり	1.00	0.86	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～12週)

2類感染症	結核	55例(4)				
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	6例	レジオネラ症	2例(1)
	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	2例
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例(2)	梅毒	4例(1)
	破傷風	1例				

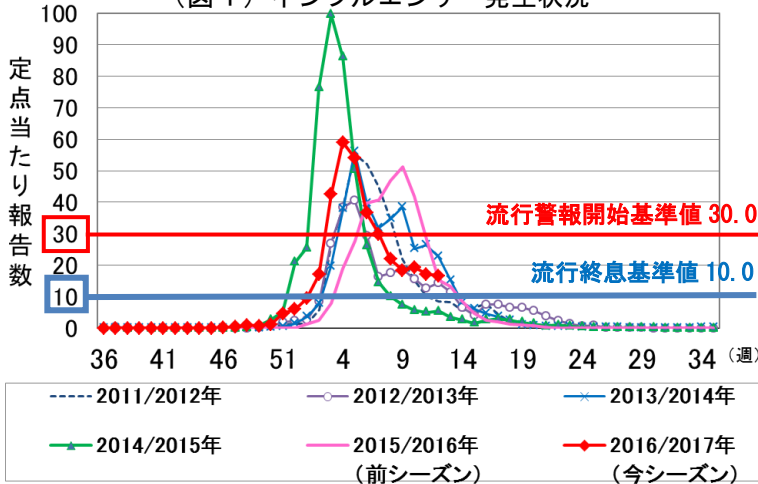
( )内は今週届出分、再掲

# インフルエンザ情報《県内第12週、全国第11週（再掲）》

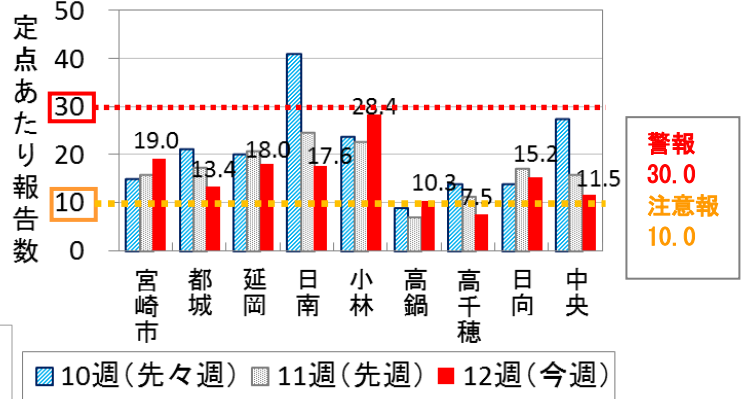
## □ 県内第12週インフルエンザ発生動向

2017年3月20日～3月26日までの1週間で985人（定点あたり16.7）の報告があった。前週の約1.0倍とほぼ横ばいで、例年同時期の定点あたり平均値\*（13.4）の約1.3倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の17%、5-9歳が34%、10-14歳が20%、15-19歳が5%、20-59歳が17%、60歳以上が7%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）

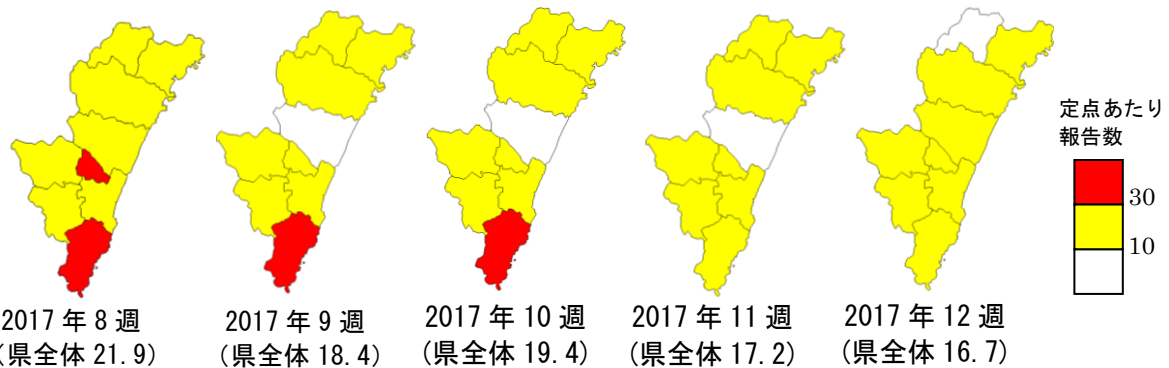


（図3）年齢群別割合の推移（2017年第8週～第12週）

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
8週 1,293人	23%	29%	17%	4%	20%	7%
9週 1,087人	25%	28%	16%	3%	19%	9%
10週 1,142人	24%	31%	16%	5%	18%	6%
11週 1,013人	21%	32%	17%	5%	17%	8%
12週 985人	17%	34%	20%	5%	17%	7%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 ■ 10～14歳 ■ 15～19歳 □ 20～59歳 ■ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2017年第8週～第12週



## □ 全国第11週インフルエンザ発生動向

2017年3月13日～3月19日までの1週間で50,976人（10.3）で前週比93%と減少した。沖縄県（22.8）、福島県（20.7）、長崎県（19.8）からの報告が多い。年齢別では5歳未満が全体の18%、5-9歳が31%、10-14歳が19%、15-19歳が5%、20-59歳が19%、60歳以上が8%であった。